

認知症の経過と支援

認知症は下表のように進行していき、その段階ごとに適切な支援や利用できるサービスがあります。
「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護、相談が受けられるのか参考にしてください。

	自立	認知症の心配	見守りがあれば日常生活は自立	日常生活を送るには支援や介護が必要	常に医療・介護が必要
認知症の症状に伴う様子		- もの忘れが増えている自覚がある - 計算間違いや誤字脱字などが増える	- 何度も同じことを聞く - 人や物の名前が出てこない - 置き忘れやしまい忘れが増える - 料理や買い物、金銭管理などが難しい	「物を盗られた」などの発言をする - 着替えが上手くできない - 家までの帰り道が分からない - もの忘れの自覚がない	- 食事やトイレ、入浴などの行為が1人ではできない - 車いすやベッド上での生活になる - 言葉数が少なくなる
本人と家族のための生活のヒント	- 健康づくりや介護予防に取り組む - 地域とのつながり（社会参加）を大切にする - これからの暮らし方、「もしも」の時の医療やケアについて、個人の希望を周囲と共有する	- もの忘れなど気になる症状があったら早めにかかりつけ医に相談する - 各種窓口で相談し、認知症についての情報を得る 	- 介護保険サービスの利用を検討する - できること、やりたいことが実現できるように、家族や友人、地域の人など、見守りや手助けしてくれる人を増やす 	- 本人の役割をすべてとりあげず、できることはしてもらう - 介護による疲労をためないよう、人の助けを借りる - 通所サービスの他、訪問サービスや宿泊サービスなどを検討する 	- 本人が安心できる環境づくりを心がける - 最期の迎え方について家族で話し合う 
相談	市役所（地域福祉課・介護福祉課）、地域包括支援センター（P26）、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム（P33）、社会福祉協議会、尾張東部権利擁護支援センター（P39）				
医療	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局、認知症サポート医等医療機関、認知症疾患医療センター				
予防・社会参加	ボランティア活動、介護予防教室（P27-28）、サロンや地域の集まり（P42-44）、認知症カフェ（P32）、健康診断、生涯学習活動、シルバー人材センター（P45）など				
生活支援	認知症本人交流会（P32）				
	配食サービス（P27）				
	くるりんばす無料パスカード（P45）		移動支援【福祉有償運送】（P45）		
	紙おむつ購入費助成（P30）、ごみ出し支援【エコサポート】など（P31）				
	日常生活自立支援事業、成年後見制度（P39）				
地域の見守り	民生委員、認知症サポーター、認知症やさしい手ネットにつしん情報配信システム（P34）、GPS サービス費助成（P33）				
介護	認知症家族交流会（P35）、認知症家族支援プログラム				
	すべて介護保険のサービスです。		- 訪問介護、訪問入浴、訪問リハビリ、居宅療養管理指導、訪問看護 - 通所介護（デイサービス）、通所リハビリ（デイケア）・短期入所（ショートステイ）（P12-15） - 小規模多機能型居宅介護（P19） - 電動ベッド・手すり・車いす等レンタル【福祉用具貸与・購入】（P20）		
住まい	自宅（住宅改修費支給 P21）、軽費老人ホーム（ケアハウス）、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム				
	グループホーム（P18）、老人保健施設、介護医療院、特別養護老人ホーム（P16）				

※それぞれの詳細は「につしん健康長寿 応援ガイド（令和5年3月発行）」をご覧ください。（ ）内に参照ページを記載しています。
※サービスや事業は一部を抜粋して紹介しています。